

- 問1 九州地方南部のシラス台地において、古くから水田稲作ではなく、サツマイモなどの畑作や畜産業が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質から説明したものととして適切なものはどれですか。(2020年 静岡公立入試 類似)
1. 火山噴出物でできた地層は水はけが非常に良く、水田に必要な水を貯めておくことが難しかったため。
  2. 標高が高く気温が低いため、熱帯性の作物である稲の栽培が困難だったため。
  3. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を阻害する性質を持っているため。
  4. 地盤が非常に軟弱であり、重い農機具を利用した大規模な耕作に適さなかったため。
- 問2 九州地方南部の地形図において、標高の高い平坦な場所に「畑」や「茶畑」の地図記号が集中して見られる地域があります。この地域の土地利用の背景として、土壌の性質の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。(2017年 滋賀公立入試 類似)
1. 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。
  2. 土壌に栄養分が極めて豊富であり、一度の作付けで多量の米が収穫できるため。
  3. 標高が高く冷涼な気候であるため、寒さに強い果樹の栽培に特化している。
  4. 海岸に近く塩害の影響を受けやすいため、塩分に強い農作物のみを栽培している。
- 問3 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われています。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。(2023年 岡山公立入試 類似)
1. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。
  2. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。
  3. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。
  4. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温められるため。
- 問4 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。(2019年 福島県公立入試 類似)
1. 鹿児島県
  2. 新潟県
  3. 青森県
  4. 愛媛県
- 問5 明治時代に官営の製鉄所が設立されたことで重化学工業が発展した、福岡県北部の地域に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。(2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 明治時代からの工業技術の集積を活かし、廃棄物を資源として再利用するエコタウン事業やリサイクル産業が盛んに行われている。
  2. 豊かな水資源と広大な土地を活かして、自動車の生産額が全国1位となるなど、日本最大の工業地帯の中核を担っている。
  3. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かし、夏から秋にかけて出荷されるレタスやキャベツなどの高原野菜の生産が盛んである。
  4. 水はけの良い扇状地が広がる地形を活かして、りんごの栽培が盛んに行われており、全国でも有数の生産量を誇っている。
- 問6 福岡県の工業出荷額の内訳を、1970年と2010年で比較した際に読み取れる特徴として、正しい記述はどれですか。工業の種類は「鉄鋼・石油などの基礎素材」「自動車・テレビなどの加工組立」「衣食住関連」の3つに分類するものとします。(2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。
  2. 1970年から2010年にかけて、出荷額の合計が減少したため、すべての項目において出荷額の実数が減少した。
  3. 2010年時点でも依然として基礎素材製品の出荷額が全体の8割以上を占めており、1970年からの構造変化は見られない。
  4. 1970年には加工組立製品が中心であったが、2010年には資源価格の高騰により基礎素材製品の割合が逆転して上昇した。
- 問7 宮崎平野できゅうりなどの栽培に用いられる、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早め、通常の出荷時期よりも前倒して出荷する栽培方法を何といいますか。(2023年 福島県公立入試 類似)
1. 促成栽培
  2. 抑制栽培
  3. 近郊農業
  4. 二毛作
- 問8 かつて官営八幡製鉄所を中心に鉄鋼業の拠点として発展した福岡県北部の港周辺では、大きな産業構造の変化が見られます。1970年と2015年の輸出品目を比較した資料によると、1970年には鉄鋼が輸出額の第1位でしたが、2015年には半導体等電子部品が第1位となっています。このような特徴を持ち、周辺では工場跡地の再開発によってテーマパークなども建設されている港はどこですか。(2017年 東京都公立入試 類似)
1. 北九州港
  2. 名古屋港
  3. 富士港
  4. 成田国際空港
- 問9 鹿児島県の地形別面積割合に関する統計において、台地の占める割合は約20.8パーセントとなっており、全国平均の約11.2パーセントと比較して非常に高い数値を示しています。このように、過去の火山活動による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された、九州南部に広がる台地を何と呼びますか。(2017年 滋賀公立入試 類似)
1. シラス台地
  2. カルデラ
  3. 砂丘
  4. 扇状地
- 問10 熊本県に位置する阿蘇山に見られる、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して形成された大きなくぼんだ地形を何といいますか。(2024年 千葉県公立入試 類似)
1. カルデラ
  2. シラス台地
  3. 扇状地
  4. 三角州
- 問11 沖縄県と全国の就業者数比率を比較したとき、沖縄県の産業構造に見られる顕著な特徴として正しいものはどれですか。なお、全国の製造業の割合が15.8%であるのに対し沖縄県は5.0%、医療・福祉の割合は全国の12.5%に対し沖縄県は15.7%という統計結果に基づきます。(2022年 沖縄公立入試 類似)
1. 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い
  2. 第2次産業の割合が全国平均を大きく上回り、工業化が進んでいる
  3. 第1次産業から第3次産業まで、すべての就業者比率が全国平均と一致している
  4. 医療・福祉の就業者数が極端に少なく、製造業が県内最大の雇用を生んでいる
- 問12 福岡県の産業と言えば、かつては北九州工業地帯の重化学工業が中心でしたが、近年では県庁所在地である福岡市などの都市部を中心に、どのような産業の集積が進んでいますか。適切なものを選びなさい。(2021年 東京都公立入試 類似)
1. 情報通信やソフトウェア設計
  2. ビニールハウスを用いた促成栽培による園芸農業
  3. 火山灰が堆積した土地を利用した大規模な酪農
  4. 冷涼な気候を活かした食料品製造業

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 火山噴出物でできた地層は水はけが非常に良く、水田に必要な水を貯めておくことが難しくなったため。	シラス台地を構成する火砕流堆積物は粒が粗く、隙間が多いため、雨が降ってもすぐに地下へ浸透してしまう「水はけが良すぎる」という性質があります。そのため、常に水を張る必要がある水田には不向きであり、乾燥に強いサツマイモや、広大な土地を利用した豚・鶏・牛などの畜産業が発展しました。
問2	答え 1 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。	シラス台地は火砕流堆積物からなる地層であり、非常に多くの隙間があるため、降った雨がすぐに地下へ抜けてしまいます。川やため池から水を引き込むことも困難だったため、稲作ではなく、乾燥に強い作物を選ぶ必要がありました。こうした背景から、畑作や広大な土地を活かした畜産業がこの地域の主要な産業となっています。
問3	答え 1 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。	黒潮（日本海流）は低緯度の暖かい海域から流れてくる「暖流」であり、周辺の気温を上昇させる働きがあります。この海流が九州南部から四国、関東にかけての太平洋沿岸を流れているため、これらの地域は冬でも温暖な気候が保たれています。この気候的特色は、ビニールハウスなどを利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培にも活用されています。
問4	答え 1 鹿児島県	鹿児島県は、宮崎県とともに南九州の畜産地帯を形成しています。火山灰が堆積してできたシラス台地は水はけが良すぎたため、伝統的に稲作よりも畑作や畜産が行われてきました。現在では、肉用牛（黒毛和牛）、豚（黒豚）、鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国トップクラスであり、農業産出額の約半分を畜産が占めるという際立った特色を持っています。
問5	答え 1 明治時代からの工業技術の集積を活かし、廃棄物を資源として再利用するエコタウン事業やリサイクル産業が盛んに行われている。	北九州工業地帯は、1901年に官営八幡製鉄所が操業を開始したことで、石炭や鉄鉱石の入手しやすさを背景に発展しました。かつては深刻な公害問題を経験しましたが、その克服過程で培った環境技術や、長年の工業集積で得たノウハウを再利用し、現在は「エコタウン」として、家電や自動車などのリサイクル産業が活発に行われているのが大きな特徴です。
問6	答え 1 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。	福岡県を含む九州地方は、かつての重厚長大産業（鉄鋼など）から、1970年代以降の「シリコンアイランド」としてのIC（集積回路）生産や、その後の自動車工場の相次ぐ進出により「カーアイランド」と呼ばれるまでになりました。この流れを受けて、福岡県の工業構造も、1970年当時の基礎素材中心の構成から、2010年には加工組立型工業の割合が拡大する形へと変化を遂げています。
問7	答え 1 促成栽培	冬でも暖かい九州地方の気候を活かし、ビニールハウスできゅうりやピーマンなどを育てる方法を促成栽培と呼びます。他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することで、農産物を高い価格で販売できるという利点があります。これに対し、高冷地などで収穫時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問8	答え 1 北九州港	福岡県北部に位置するこの地域は、明治時代の官営八幡製鉄所の操業開始以来、北九州工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。しかし、時代の変化とともに産業の主役が鉄鋼業から半導体や医療機器などの高付加価値製品へと移り変わっており、これを産業構造の変化と呼びます。広大な工場跡地はスペースワールド（現在は閉園し、新たな施設へ移行）などのテーマパークや商業施設に活用される再開発が行われてきました。
問9	答え 1 シラス台地	九州南部に広がるこの台地は、過去の巨大噴火による火砕流の堆積物（シラス）や火山灰によって形成されました。水はけが非常に良く、水持ちが悪いため、古くから稲作には不向きとされ、サツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産業が発展する要因となりました。鹿児島県の地形的な特徴を語る上で欠かせない要素です。
問10	答え 1 カルデラ	阿蘇山は世界最大級の陥没地形を持つことで知られています。大規模な噴火が起こると、地下にあったマグマが地上に大量に放出され、地下に巨大な空洞ができます。その空洞を支えきれなくなった地表が重みで崩れ落ちる（陥没する）ことで、特徴的な鍋型の地形が作られました。
問11	答え 1 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い	沖縄県の産業構造は、全国平均と比較して第2次産業（特に製造業）の割合が極めて低く、一方で第3次産業の割合が高いという独自の特徴があります。2021年のデータでも、製造業の就業者比率が全国の3分の1以下であるのに対し、観光や生活に関連する第3次産業が経済の大きな柱となっていることがわかります。
問12	答え 1 情報通信やソフトウェア設計	福岡県は九州地方の経済の拠点であり、人口約154万人を擁する県庁所在地の福岡市などを中心に、高度な技術や知識を必要とするソフトウェア設計や情報通信関連の企業が数多く進出しています。これは、都市部に優秀な人材が集まりやすく、オフィスや通信環境が整っているためです。なお、促成栽培は宮崎県、大規模な酪農は北海道などで盛んな産業です。